

様式第1号(第3条関係)

真庭市営単独住宅入居申込書

年 月 日

真庭市長 様

申込者

次のとおり市営単独住宅の入居の申込みをします。なお、本書記載内容が事実と相違するとき、又は入居申込者(その同居者を含む。)が暴力団員であることが判明したときは、入居に係る一切の権利を放棄します。また、入居に係る資格について、市が関係機関に照会を行うことに同意します。

申 込 者	現 住 所	郵便番号			電話番号		
		住宅の種類				名義人氏名	
	フリガナ				男・女	生年月日	年 月 日
	氏 名						
	勤 務 先 又 は 営 業 所	名 称				所 属	課 係
所 在 地							
電話番号					勤務又は営業年数	年 月	
入 居 し よ う と す る 者	続 柄	氏 名	生年月日	職 業	障害・特障・ 寡婦・ひとり 親等の有無	収 入 金 額 (年収)	※ 所 得 金 額
	申込者本人						

照 合	政令の収入合計					※ 円	
入居しないが 所得税法(昭和40年法律第33号)上扶養 している親族	続 柄	氏 名	生 年 月 日	障害・ 特障の 有 無	備 考		
現在の住居に居住している期間__年__月 人員__人							
現住居の 状況	住 居 別	自 宅・借家 の別	部 屋 数	畳 数	水 道	便 所	物 置
	(1)一般住宅 (2)アパート (名称) (3)その他	(1)自 宅 (2)親族の家 (3)借 家			(1)ある (2)共同 (戸) (3)ない	(1)ある (2)共同 (戸) (3)ない	(1)ある (2)共同 (戸) (3)ない
借 家 アパート の場合	家主の住所_____家賃 月額_____円 氏名_____電話_____ (水道・電気代別途__円)						
市 申 営 込 住 回 宅 数	真 庭 市 営 住 宅	年度	年度	年度	年度	計	回
	他市町村の公営住宅						回
	岡 山 県 営 住 宅						回
住 宅 に 困 っ て い る 事 情	(1) 住宅でない建物に住んでいる。 (2) 保安上危険又は衛生上有害な状態の住宅に住んでいる。 (3) 住宅がないため家族と別居している。他の世帯と同居し生活上不便である。 (4) 住宅が狭くて困っている。不完全な施設の住居に住んでいる。 (5) 立退要求を受けて困っている。 (6) 家賃が高くて困っている。 (7) 遠距離から通勤している。 (8) その他						
	上記の事情を具体的に記入のこと。						

現住居の平面図(間取りの概略を書くこと。)			現住居付近見取図(目標となる所を分かりやすく。)			
婚 約 者	申	住 所		婚	住 所	
	請	氏 名	Ⓜ	約	氏 名	Ⓜ
	者	生年月日	年 月 日	者	生年月日	年 月 日
	上記の両名は、 年 月 日に挙式予定であることを証明します。 年 月 日 (双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名)					
証 明 書	住 所		住 所			
	氏 名	Ⓜ	氏 名	Ⓜ		
記 入 上 の 注 意	(1) 現住所は住民票のとおり、電話番号は呼出し、内線番号についても記入のこと。 (2) 勤務先は正確な名称をはっきり記入のこと。 (3) 入居する世帯員の続柄、氏名、年月日は住民票のとおり、職業は具体的に記入のこと。 (4) 収入金額(年収)は、収入がある者全員について、給料、賃金、歳費、年金、恩給、賞与及びこれらの性質を有する給与のすべてを各々の会社、官庁で証明してもらい、その合計額を記入のこと。事業所得は、市町村で証明してもらうこと。ただし、1年に満たないものは、発生後分のみでよい。 (5) 現住居の状況は、該当欄を○で囲むこと。 (6) 住居に困っている事情は、該当欄を○で囲み、事情を具体的に記入のこと。 (7) 現住居の平面図、付近見取図は、明確に記入し、付近見取図に現住居をはっきり図示すること。 (8) ※印は、記入しないこと。					